
ある酒場で・・・

Mr.あいう

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ある酒場で・・・

【Nコード】

N7728H

【作者名】

Mr. あいう

【あらすじ】

昼間だと言うのに酒場に入っていく老人の物語。

まだ日は高い。そんな中、60も半ばであろう老人が、酒場に入っていく。

「まだやってないよ」

明らかにいらいらした声が客のいない酒場に響く。確かに扉に「LOSE」の札がかかっている。

だがそんなことはお構いなしでその客は店内に入ってくる。

「まっ昼間っから酒があおりたきや、よその店へ行きな」

主人はイライラを隠そうともせずそういうが、老人はお構いなしだった。

「おい、あんたいい加減に・・・」

「久しいな、ヴァイザス。引退して、こんなことをやっているのか」

「・・・お？なんだお前か、見ない間にすっかり老け込んだな、グレン」

老人の顔を確認した主人は、顔を崩す。彼らは、旧知の仲だ。

「そういうあんたも、見る影もないぞ、昔は孔雀のような派手な服を着ておったではないか」

「はっ、お前こそあのときの鎧はどうした。赤と銀色の、似合って

たのになあ」

「たわけ、あんな重いもの、腰に悪いわ」

互いの悪口を言い合っているものの、彼らの顔はにこやかだった。お互い、悪意はないらしい。

「で、どうした、何か用か、手土産のひとつもなきや、帰ってもら
うぜ」

「クク、昔の友人と語らうのも、高くつくものじゃな」

そついいながらも、懐から高そうなビンを取り出した。
どうやら、酒のようだ。

「おお、こりや名酒《轟》じゃねえか、ありがてえ、この地方じゃ
めったにお目にかかれねえんだよ。まあ座れや、いっぱいやろう」

「・・・急に上機嫌になりおつて、現金な奴め」

グラスを取り出しながら、主人が尋ねた。

「そついやあ、俺の息子今どうしてる。こつも辺境だと噂も伝わっ
てこねえ」

「ああ、うまくやっておる。あんたよりよっぽどな」

「へっ、そつかいそつかい。そりゃああなたの孫も苦労するだろう
ぜ、あと1年で16だったか」

「いや、あと半年じゃ。また、歴史が繰り返される」

「何しんみりしてんだよ。あんた、本当老け込んだな」

「そうじゃな・・・年を取らんあんたが羨ましいよ」

「けっ、くだらねえ。あんたが持ち出してきた何とやらの剣のとかのせいであらかた魔力もつていかれたからな、今じゃ酒場の主人くらいしかできねえ抜けがらさ」

「ああ、あのときか。スマンかったな、あのときは」

「やめてくれよいまさら、あれも必要な犠牲、だろ。勇者様」

「元勇者じゃ。元をつける、元魔王」

「ああ、懐かしいなその呼び方」

やがて持ってきた酒もつき、日も傾き始めた。

「そろそろ失礼するよヴァイザス。まだ役割が残っておる。優しいおじいちゃんとして、孫に死に際に勇者の証を渡さねばならん」

「ああ、必要な犠牲、か」

「そのとおりじゃ。まったく、この世は平和じゃのう、ヴァイザス。わかりやすい正義と、わかりやすい悪のおかげで均衡が保たれておる。必要な犠牲。よう言った物じゃ」

そういうと、元勇者は店を出た。

「平和、か」

そうつぶやくと元魔王は扉の札を「OPEN」とし、グラスを磨き始めた。

さて、長かった彼の物語も終わりを告げる。

ある少年の住む町に魔王軍が攻め入り、少年の家族を皆殺しにする。ちようど隣町から帰ってきた少年は、虫の息の祖父から「勇者の証」なるアイテムを授かる。

困惑したままに、少年は魔王軍を殲滅する。

・
・
家族を奪われ、絶望する少年に私が語りかけ、新たな物語が始まる・

ここは魔法大陸アルバトビュウス。

世界には魔族と人間の2種類が存在し、
同族が決して争わない世界。

その世界には、神が存在している・・・

(後書き)

勇者ものが書きたい！そう思って書いたのに、
妙に重たい話になってしまいました・・・

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7728h/>

ある酒場で・・・

2010年10月14日22時44分発行